



谷口 和弥 議員  
(拓政会)

**問**

幕別町と忠類村の「合併10周年記念事業」として、「幕別町の魅力を再発見するとともに、未来に向けた郷土愛を育むこと」を目的に、幕別町の花を「しばざくら」、「町の木を「かしわ」、町の鳥を「おおはくちよう」、併せて「シンボルマーク」と「ご当地ナンバープレート」を制定した。については、以下の点について伺う。

- (1) 幕別町の花・木・鳥の周知をどのように工夫しているか。
- (2) 幕別町の公共用地に「しばざくら」の植栽を広げる考えはあるか。また、「公区環境美化支援事業」を活用した「しばざくら」の苗の植栽について、どのように促進しているか。
- (3) 「シンボルマーク」と「マスコットキャラクター」の使用状況は。
- (4) 「ご当地ナンバープレート」の使用状況と、その評価は。
- (5) 国土交通省は、「自動車用ご当地ナンバー」に、道内から「苦小牧」と「知床」の2地域を採用すると発表した。新地名に加え、景

**問** 幕別町の花・木・鳥、シンボルマーク等を生かしたまちづくりを

**答** 郷土に対する愛着とさらなる一体感の醸成を図るべく、効果的に活用していく

勝地や名所のイラストをあしらった自動車のナンバープレートが交付可能になる制度である。「とかち(仮称)ナンバー」の交付に向け、幕別町が先頭に立ち、管内18町村で協議すべきと考えるがどうか。

(3) シンボルマークは、JA幕別町青年部の役員用名刺のほか、消費者協会や老人クラブ連合会の配布物等への使用、民生委員・児童委員の名刺など、合わせて6件の使用があった。マスコットキャラク

**町長** (1) 今年度から新たに汚水樹などのマンホールの蓋に町花やシンボルマークをデザインしたものを作製し、60か所のマンホールに使用するなど、様々な方法により周知に努めている。また、住民票や町税証明書の台紙に町花等のデザイン印刷を予定している。(2) 公区などの協力をいただきながら、公共施設の花壇や植樹枒など一定のスペースを活用した植栽や、事業所・農村環境の整備団体にも協力要請を行っていく。「しばざくら」を植栽していただいた公区の取組事例について、公区長会議、出前講座等で紹介するとともに、事業の内容やあり方について協議・検討を行い、利用促進を図りたい。

幕別町の花・木・鳥（平成28年2月6日制定）の紹介は、次のような親しまれる工夫を

◎町の花「しばざくら」



ピンクや白などのかわいらしい花を咲かせます。小さな花が密集して咲き誇る様子から、「合意」「一致」「読病な心」という花言葉が付けられています。青色や白色系には「燃える恋」「煌(きら)めく愛」という花言葉もあります。

◎町の木「かしわ」



かしわは落葉樹ですが、秋に葉が枯れても翌年の春に新芽が芽吹くまで葉が落ちることがないという特性から「代が途切れない」縁起物とされ、柏餅を包むのに用いられます。

◎町の鳥「おおはくちよう」



つがいになると一生同じパートナーと生活を共にします。その絆はたいへん強く、冬の終わりとともに一斉に群れが飛び立っても、傷ついて飛べなくなったパートナーに付き添って一緒に居残ったという話も珍しくありません。

◎幕別町シンボルマーク  
(平成28年2月6日制定)



◎幕別町マスコットキャラクター  
(平成25年10月、要綱制定)



※ (16パターンあり)

◎ご当地ナンバープレート  
(平成28年4月、交付開始)



- ・原動機付自転車 (50cc以下、90cc以下、125cc以下)
- ・ミニカー
- ・小型特殊自動車 (農耕用・その他のもの)

ターは、商工会のイベントや公区の広報紙、北海道消費者協会の発刊紙、企業の店内装飾など15件の使用があった。

(4) この2年間、登録台数の約6割の方々に「ご当地ナンバープレート」を使用したいただいております、なお一層、多くの町民の皆さんに活用していただけるよう、機会を捉えて周知を図りたい。

(5) オール十勝での取組となるよう、機運の醸成に努めたい。